



学校だより

令和2年 8月31日

9月号

めざす子ども像
ともに学び、よりよい生き方を見つけ出すしろさとっ子

横浜市立城郷小学校

いま 今できることを

校長 巴 幹晴

例年より十日早く始まった学校。暑い日が続いた8月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と熱中症予防のため、換気と冷房の両立に苦心してきた2週間でした。副校長を中心に校内各所で暑さ指数(WBGT)を計り、換気の方法を調整したり、学習活動を制限したりする判断をしながら授業を進めています。

さて、8月30日に元気の出るニュースがありました。競泳女子の池江璃花子さんが29日、東京都特別大会の50メートル自由形に出場し、10月の日本学生選手権大会の参加標準記録(参加する権利がもらえる記録)を上回り、約1年7ヶ月ぶりにレース復帰を果たしたことです。

まだ学校が臨時休業中だった5月中旬、池江さんの療養から退院、そして新たな目標をもって生活を始める様子を記録した番組が放送されました。

病気を知ったショックや苦しい闘病生活が続き、やせ細って歩行器を使わなければ歩けない様子なども映しだされました。退院。「2024年パリ五輪出場、メダル獲得」という目標をたて、治療を続けながら少しずつトレーニングも始めました。身体を支える力の無い腕に少しずつ力をつけていくことに、焦らず地道に取り組みます。大学生としての日常を取り戻し、幼い頃から生活の一部だった水泳のない毎日を受け入れていきました。



体力を回復していく記録から感じたのは、池江さんが、常にその時その時の自分の体調(体力)を素直に受け入れ、過去の輝いていた自分と比較せずに、今の自分を楽しみながらできることに挑んでいく姿勢をもち続けていることでした。

ニュースを聞き、池江さんが前を向いて努力を重ねてきたことが形となって現れたことに対して、お祝いと尊敬の気持ちをもつとともに、その姿が私たちに、明日へ向かって頑張ろうとする「心のエネルギー」を与えてくれたことに感謝したいと思いました。

学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考えながら、教育活動を計画しています。今月末に予定している創立120周年記念運動会の実施についても悩みました。今の子どもたちの学びの姿を観ていただく機会として大切にしたい。しかし、狭い校庭での密集を避けなくてはなりません。そこで、保護者の皆さまにもご協力いただき、参観者を一家庭に対して保護者一人に制限し、2学年ずつの完全入れ替え制にして実施します。詳しくは改めてご案内をお配りします。

今、できることを慎重にさぐりながら、子どもたちの今と未来を考えて進めて参ります。

今月も本校教育活動に、地域・ご家庭でのご協力をお願いいたします。

城郷小学校ホームページアドレス：<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirosato/>